

韓国語を学びたい気持ちをがっちりサポート！

インタビュー、ドラマなど生の韓国語が満載。今の韓国を素材に多彩な学習プログラムでしっかり学ぶ韓国語学習雑誌

『韓国語ジャーナル』31号

今年の韓国ニュースと流行語を学ぶ / 若手俳優イ・ミンギ、ジュピロ磐田イ・グノ選手が登場

< 2009年12月19日(土)発売 >

このたびは株式会社アルク(東京都杉並区永福 代表:平本 照麿)より、『韓国語ジャーナル』最新号のご案内を申し上げます。



< 『韓国語ジャーナル』31号表紙 >

【本体】1,500円(税込1,575円)
 【サイズ】B5判+CD1枚
 【ISBN】978-4-7574-1821-9
 【レベル】韓国語入門以上

【好評連載】

Ryuの韓韓辞典でQ!
 得する微妙表現
 金景太の昨日より前の話
 Play Back あの日のあの時

その他

注目記事

今回の「ドラマで学ぶ会話表現」は、ピョンビンとソン・ヘギョという2大スターが登場する「彼らが生きる世界」です。
 「Made in Japanで勝負!」は、韓国でも好評を博している「BOOK-OFF」を取材しました。

2002年に創刊した日本で唯一の韓国語学習ムック『韓国語ジャーナル』。目から耳から、韓国を知るための硬軟織り交ぜたコンテンツが特徴で、人気ドラマで会話を学んだり、学習ページや今の韓国が分かる情報コーナーなどの連載、そして付録のCD「Voice of KJ」では、韓国のラジオ番組のような構成で著名人らのインタビューが楽しめます。

KJ INTERVIEW 音声と、韓国語と日本語のスクリプト付き

- イ・ミンギ(俳優)
- イ・チャム(韓国観光公社社長)
- キム・テウ(アーティスト)
- イ・グノ(ジュピロ磐田選手)



< イ・チャムさん >

KJ31号の表紙&巻頭インタビューは、今もってもパワーあふれる若手俳優、イ・ミンギが登場。付録CDに、ミンギからの「メッセージ」と、「最近妄想すること」を生声で収録。

ほか、今年韓国で話題を集めた人々を各分野からピックアップしました。ドイツ出身の帰化韓国人、イ・チャム韓国観光公社社長が登場。スポーツ界からは、2010年ワールドカップでの活躍が期待されるジュピロ磐田のイ・グノ選手。歌手・アーティスト部門からは、除隊後の活躍が目覚ましい、キム・テウにインタビュー。

特集 1 「韓国ニュースフラッシュ 2009」

今年の韓国重大ニュースを、読んで、聞いて、学べます。日韓対訳、ニュースの背景が分かる解説と単語解説でフォロー。また、B級ニュースを集めた「ここまで知っときゃ韓国通 夕刊KJ」や、今年の韓国の流行語を集めたページも。

特集 2 「使える!韓国語 実践ドリル」

韓国現地発、韓国の文化とことばを学べるドリルに挑戦

【音声 CD Voice of KJ】

俳優パク・トンハさんの軽妙なおしゃべりに乗せてお送りする、楽しみながら学べる音声教材です。ジュピロ磐田のイ・グノ選手は、今年世間を騒がせた欧州移籍についての貴重なインタビューを収録。ロングインタビューでは、ドイツ出身のイ・チャム韓国観光公社社長が登場し、韓国への帰化について、そして世界にアピールできる韓国の観光資源について話します。また、対談ゲストには金景太を招き、李美現アナウンサーと今年のニュースと流行語について語ります。K-POPには、イ・ソンギョン主演のドラマ「トリプル」の挿入歌でも注目されている2人組、ジットゥンの話題曲が登場。

創刊 30 号記念企画「Ryu と韓国語収録！ Voice of KJ」 イベント開催のご報告

2009年12月5日、『韓国語ジャーナル』創刊30号を記念して、本誌の付録CDの人気プログラム「Voice of KJ」を公開収録するイベントが、韓国文化院ハンマダンホールにて行われました。公開収録当日の様をご報告します。

イベント情報

日時:2009年12月5日(土)15:00~17:00

会場:韓国文化院ハンマダンホール(東京都新宿区)

出演者

ナビゲーター:李美現(フリーアナウンサー)

ゲスト:Ryu

あいさつ:平本照磨(株式会社アルク代表取締役社長)

主催・後援

主催:株式会社アルク

後援:駐日韓国大使館 韓国文化院



当日のナビゲーターは、韓国 MBC のアナウンサー出身で、現在は日本を拠点にフリーアナウンサーとして活躍する李美現(イ・ミヒョン)。ゲストに「冬のソナタ」主題歌の大ヒットを持ち、本誌で連載コーナーのナビゲーションを担当している歌手の Ryu を迎え、応募で選ばれた読者を対象に、楽しいトークが繰り広げられました。



出演者ふたりの軽快なやり取りで、会場は終始笑いに包まれ、参加者の皆さんは大変満足した様子でした。この公開収録はすべて韓国語で進行されたにもかかわらず、会場からの笑いや拍手の反応の速さは言葉の壁を感じさせず、参加者の韓国語レベルの高さと学習熱が伝わるイベントとなりました。



本イベントの音声の一部は、2010年3月中旬発売の『韓国語ジャーナル』32号の付録CDに収録。音声スクリプトと対訳も掲載されます。

株式会社アルク 広報部 (担当:河合)

〒168-8611 東京都杉並区永福 2-54-12 電話:03-3323-3521 FAX:03-3327-3971

e-mail: menet@alc.co.jp <http://www.alc.co.jp/press/>

お客様用お問い合わせ先:アルク カスタマーサービス部 電話 03-3327-1101(受付時間 9:00~17:00/平日のみ)